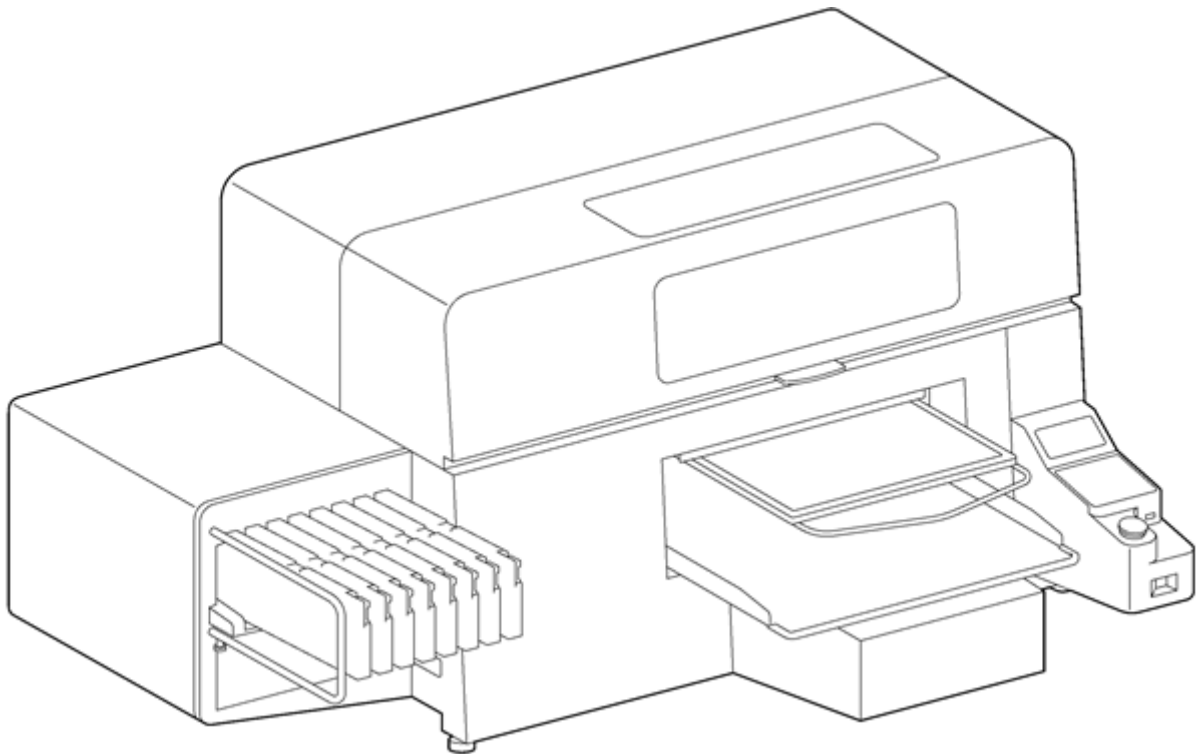


ブラザー工業株式会社

GT3 シリーズ

GT3 ハンドブック



このハンドブックは GT3 シリーズのメンテナンスに特化したものです。

印刷して製品と一緒に置いて日頃から本書のメンテナンスについてご確認、実施いただき、故障なくスムーズな GT3 の運用が出来るよう活用してください。

使用環境



プリンターは下記の印刷保証範囲内でご使用ください。

温度: 18°C ~ 30°C

湿度: 45% ~ 85%

メンテナンスの概要



GT3 をお使いいただく際は、毎日のメンテナンス、週ごとのメンテナンス、または定期的に案内される表示に従いメンテナンスを必ず実施して下さい。この説明書では必須のメンテナンス項目を記述しております。

毎日のメンテナンス(毎日の印刷開始前に実施)



●白インクカートリッジの攪拌

白インクカートリッジは1日1回、使用直前によく振ってください。(1個につき、30秒~1分程度)カートリッジは挿入された状態で下に顔料が沈降していますので、印刷時に白さが出ません。上下反対にして大きく長手方向に振ってください。

* チューブクリーニング、白インク入れ替えを行う場合でも、その前に白カートリッジの攪拌を行ってください。

●白インク攪拌

・プリンターをお使いになる前日に白インクを使用した印刷枚数が12~16枚以上の場合

若しくは

・18時間以内に白インクを使用した印刷をしている場合

* 白インク入れ替えの代わりに白インク攪拌を行い、白インクを廃棄することなく白さを保つことができます。

●白インク入れ替え

・プリンターをお使いになる前日に白インクを使用した印刷枚数が12~16枚未満の場合

若しくは

・18時間以上白インクを使用した印刷がされていない場合

* 白インク入れ替えは、白インクカートリッジの攪拌の後に実施してください

上記、白インクのメンテナンス終了後、下記、基本ステップの通りに、印刷品質を確認するためにノズルチェックパターン印刷を実施し、吐出が不完全な場合はヘッドクリーニングを実施してください。

基本ステップ



●ノズルチェックパターン印刷の実施方法

* 印刷時は必ずプラテン高さを A の位置にご設定ください。

・カラーヘッドの吐出確認

【メニュー】⇒【テスト印刷】⇒【ノズルチェックカラー】⇒【OK】

・白ヘッドの吐出確認

【メニュー】⇒【テスト印刷】⇒【ノズルチェック白】⇒【OK】

* 不吐出がある場合はヘッドクリーニングを実施ください。

●ヘッドクリーニングの実施方法

・10 未満のノズルが不吐出の場合

【メニュー】⇒【ヘッドクリーニング】⇒【ノーマルクリーニング】
⇒ヘッド選択⇒【OK】

・10 以上のノズルが不吐出の場合

【メニュー】⇒【ヘッドクリーニング】⇒【パワフルクリーニング】
⇒ヘッド選択⇒【OK】

* 再度不吐出が見られる場合は、更にクリーニングを実施ください。



白インクをご使用の場合は毎週のメンテナンスとして白チューブクリーニングを実施してください。

●白チューブクリーニング

【メニュー】⇒【メンテナンス】⇒【白チューブクリーニング】⇒【すべての白】⇒【OK】

*この後はモニターの指示に従って実施してください。

チューブクリーニングはチューブとプリントヘッド内部の顔料を洗い出すだけでなくメンテナンスユニット(プリントヘッド下の吸引側ユニット)のチューブも洗浄します。プリンターを長く使うために大事なメンテナンスです！

*メニューで「すべての白」を選択して実施する場合、クリーニング実施前に白インクをカートリッジに回収できるので、時間はかかりますが捨てインクを減らしてコストを削減することができます。

クリーニングを1本ずつ実施する場合は白インクの回収は行われません。

白チューブクリーニングが終わったら続けて攪拌済みのカートリッジを挿して、白インク導入を行います。

【メニュー】⇒【メンテナンス】⇒【洗浄後白インク導入】⇒【すべての白】⇒【OK】

*この後はモニターの指示に従って実施してください。

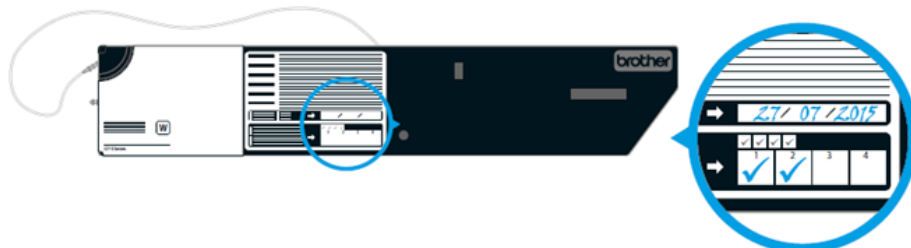
*白インク導入後、ノズルチェックパターン印刷で吐出の確認を行ってください。

*白チューブクリーニングを実施してから1週間経つと自動的に「チューブ洗浄してください W」のメッセージがパネルに表示されます。

●白インク用メンテナンスカートリッジ

このカートリッジはフィルターを使用しているため、消耗部品になります。充填剤を5kgボトルを4本使用するか、使用開始から1年経過した場合は新しいカートリッジに交換してください。

カートリッジのラベルに充填剤の使用数と利用開始日を記載できますのでご活用ください。



メンテナンスカートリッジW <部品コード:SB3264201>



プリンターの状態を正常に保つためには目視での検査が重要です。全ての可動部品の動きに問題がないことやインク漏れがないことを確認してください。

* 清掃前は事前に下記を行い、キャリッジをキャップ上から移動させ電源を OFF してください。

【メニュー】⇒【メンテナンス】⇒【ノズル清掃】

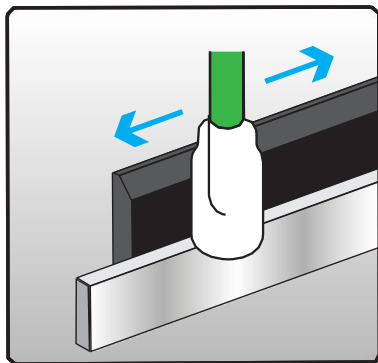
白チューブクリーニングを行った後、白インクがワイパーに凝固しないようにワイパーブレードをクリーニングしてください。ノズルにインクが詰まりにくくなります。

またヘッドキャップをクリーニングして、凝固インクやTシャツのほこりや糸くずを取り除いてください。ポンプによるインクの吸引が良くなります。

●ワイパーブレードクリーニング

【毎週実施してください！】

ワイパーブレードはノズルからインクが正常に吐出するようにヘッドノズル面をクリーニングします。ワイパーブレードに付着したインクやごみはワイパークリーナーでクリーニングされます。



ワイパークリーナーが汚れているとワイパーブレードをきれいに掃除出来ず、結果ノズル底面がきちんとクリーニングされません。

クリーンスティックにウォッシュ液をたっぷりつけて2つのワイパーブレードの前面と後面を拭き取っ

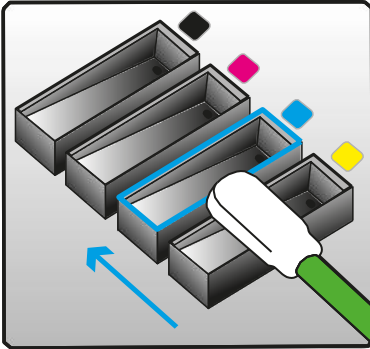
てください。

ワイパーブレードが変形していないか、金具から外れていないか確認してください。異常が見つかった際は新しいパーツに交換してください。

ワイパーブレード <部品コード: SB3635001>

●ヘッドキャップクリーニング

【毎週実施してください！】



ワイパーブレードのクリーニングと同時に、ヘッドキャップもクリーンスティックを使ってクリーニングしてください。

ヘッドキャップは待機時プリントヘッド底面を密封して乾燥しないようにします。

もしヘッドキャップに乾いたインクや余分なインクがたまっていたらノズル部のインクの待機状態が変わり、不吐出になります。この状態が続くとプリントヘッドが乾いて、結果吐出不良の原因となります。

ワイパーブレードの時と同じようにクリーンスティックにウォッシュ液をたっぷりつけて、キャップの端と内部をクリーニングしてください。

1つのキャップ毎にスティックの片面を使って、汚れた面を他の色のキャップに使わないでください。白のヘッドキャップも同じようにクリーニングしてください。ヘッドキャップをクリーニングしたら、新しいワイパークリーナーを取り付けてください。ワイパーブレードは白とカラーのキャップの間に配置した状態で行ってください。

プリンターの電源を入れてください。キャリッジが動く前に各キャップのインク排出を行った後、通常に起動します。

ワイパーブレードの位置を手動で動かした場合、電源投入時に「ガリガリ」と音が出る場合がありますが、異常ではありません。

標準メンテナンススケジュール



標準スケジュール

		週	月	火	水	木	金	土	日
361 381 W	1	白洗浄	+ 白導入	白入替	白入替	白入替	白入替	-	-
	2	白洗浄	+ 白導入	白入替	白入替	白入替	白入替	-	-
	3	白洗浄	+ 白導入	白入替	白入替	白入替	白入替	-	-
	4	白洗浄	+ 白導入	白入替	白入替	白入替	白入替	-	-

白洗浄 : 白チューブクリーニング **白導入** : 白インク導入 **白入替** : 白インク入替

* 白インクカートリッジ攪拌: 毎日作業前に実施!

* 清掃 & グリス塗布

メンテナンススケジュール例 (下記に該当するお客様のみ)



1 日最低 15 枚、白インクを使った印刷をするお客様

週5日稼働の例

		週	月	火	水	木	金	土	日
361 381 W	1	白洗浄	+ 白導入	白攪拌	白攪拌	白攪拌	白攪拌	-	-
	2	白入替		白攪拌	白攪拌	白攪拌	白攪拌	-	-
	3	白洗浄	+ 白導入	白攪拌	白攪拌	白攪拌	白攪拌	-	-
	4	白入替		白攪拌	白攪拌	白攪拌	白攪拌	-	-

週3、4日稼働の例

		週	月	火	水	木	金	土	日
361 381 W	1	白洗浄	+ 白導入	白攪拌		白入替	白攪拌	-	-
	2		白洗浄	+ 白導入	白攪拌	白攪拌		-	-
	3	白洗浄	+ 白導入	白攪拌	白攪拌			-	-
	4				白洗浄	+ 白導入	白攪拌	白攪拌	-

白洗浄 : 白チューブクリーニング **白導入** : 白インク導入 **白入替** : 白インク入替

白攪拌 : 白インク攪拌



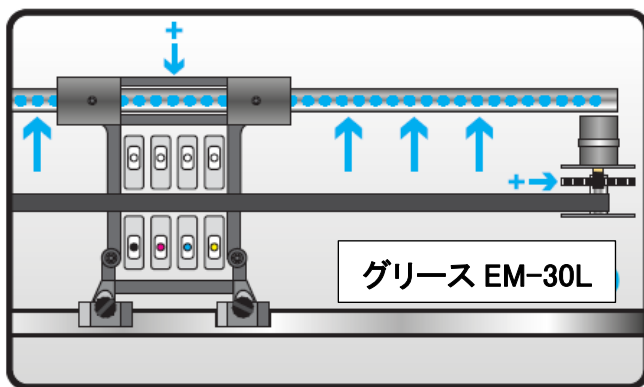
毎月のメンテナンス方法

月メンテナンスは毎日・毎週のメンテナンスに加えて実施してください。目的はプリンターを最良の状態にし、正常に印刷出来る状態を維持する為です。

毎月 15 分のメンテナンスを行う事で、故障して数日間のプリンター停止を防止出来ることを覚えておいてください。キャリッジガイドシャフトの清掃とグリス塗布、キャリッジレールの清掃、プリンター内部の汚れの目視確認をすることをお勧めします。



キャリッジガイドシャフトの清掃とグリス塗布



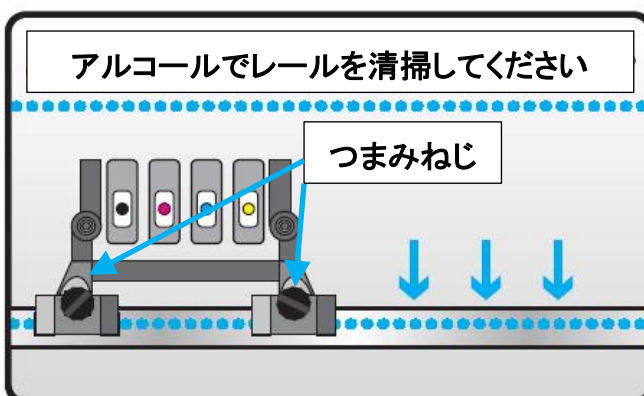
純度の高いアルコール(95%以上)をやわらかい布に付け、キャリッジガイドシャフトを一通り清掃してください。清掃後、白いグリス(グリース EM-30L)を塗布してください。キャリッジ中央部の2つのベアリングの間のシャフトにもグリス塗布を忘れずに。

また、キャリッジモーターの銅色のピニオンギアにもグリース EM-30L を少し塗布してください。

グリース EM-30L <部品コード: SB3229001>



キャリッジレールの清掃



フェルト支えのつまみネジを外してください。

純度の高いアルコール(95%以上)をやわらかい布に付け、キャリッジレールを一通り清掃してください。

フェルト支えの下側に付いているフェルトを外し、新しいフェルトに交換してください。

フェルト支えを元の場所に取り付け、つまみネジを締めてください。

* キャリッジガイドシャフトの清掃/グリス塗布、キャリッジレールの清掃後には CR スピードの調整を必ず実施してください。

メンテナンスパーツの交換



2つのワイパークリーナ、ファンフィルタ、フラッシングスポンジ、フラッシングフェルト、キャリッジフェルトを手順に沿って交換する必要があります。

(GT341はワイパークリーナーはカラー側の1つだけ交換)

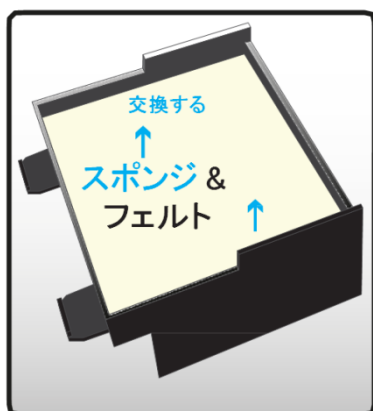
メンテナンスパーツの交換時期はヘッドクリーニング(ノーマル/パワフル/オート)を80回若しくは4週間使用のどちらか早いタイミングで案内されます。ヘッドクリーニングは回数を重ねるとワイパークリーナーがインクでベトベトになり、十分なクリーニングが出来なくなり、吐出不良に繋がります。

【メニュー】⇒【メンテナンス】⇒【メンテ部品の交換】⇒【OK】⇒電源オフ

*カウンターをリセットする為にも他のメニューではなくメンテ部品の交換メニューを使用してください。

クリーニングと消耗品の交換	
メッセージ	実施内容
ワイパークリーナーを交換してください/ フラッシングスポンジを交換してください	ヘッドキャップ&ワイパーブレードの清掃
	ワイパークリーナーの交換
	フラッシングスポンジ&フラッシングフェルトの交換
キャリッジフェルトを交換してください/ ファンフィルタを交換してください	キャリッジフェルト&ファンフィルタの交換

●フラッシングスポンジ&フラッシングフェルトの交換



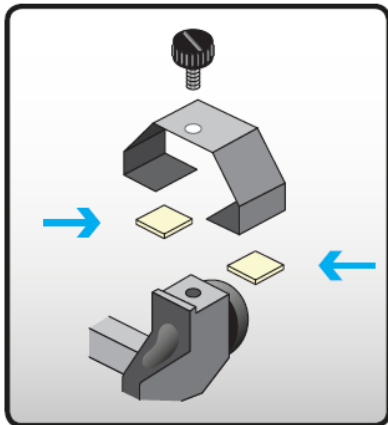
フェルトをフラッシング受けの底に敷く。
フェルトの上にスポンジを置く。
フラッシング受けを製品にセットする。

フラッシング受けが水平方向に正しくセットされプリントヘッドの動きに干渉しないか確認してください。

フラッシング受けスポンジ <部品コード: SB3004001>

フラッシング受けフェルト <部品コード: SB3005001>

● キャリッジフェルトの交換

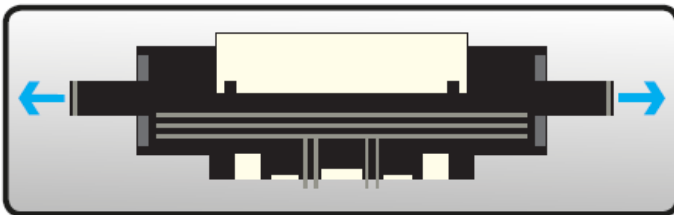


キャリッジの前方に 2 つのブラケットがあり、4 つのキャリッジフェルトが固定され、キャリッジの動作と共にレールをクリーニングしている。

* エラー61**になる事があるので、ブラケットは曲げないように注意してください。

キャリッジフェルト <部品コード: SB2652101>

● ワイパークリーナーの交換

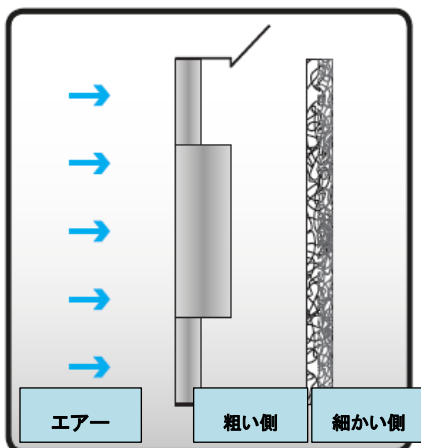


ワイパークリーナーは定期的に変換してください。

* ワイパークリーナー汚れが原因の不吐出は多く、とても重要です。

* ワイパークリーナーの交換前にはヘッドキャップとワイパーブレードのクリーニングを行ってください。

● ファンフィルタの交換



ファンフィルタは吐出されたインクのみストを捕集します。

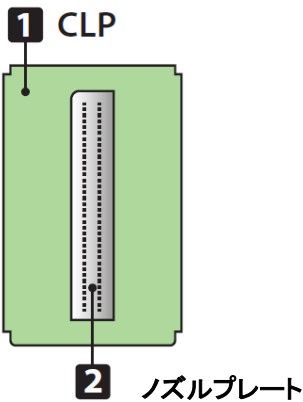
粗い目の側をフィルタ入れにセットします。

フィルタ <部品コード: SB3018001>

プリントヘッドのノズル清掃



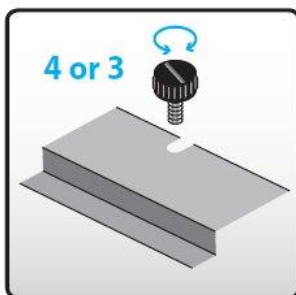
【メニュー】⇒【メンテナンス】⇒【ノズル掃除】⇒電源オフ



クリーンアプリアケーターにウォッシュ液をたっぷりつけて、ノズル表面(図の**1**と**2**前面)のインクをクリーニングしてください。

特に**2**のノズルプレートはインクが吐出する部分ですのでスティックの先を持って優しく撫でるようにクリーニングしてください。

エンコーダーストリップの清掃



エンコーダーカバーの4つ(モデルによっては3つ)の黒いつまみネジを緩めて(完全に外さないように)、カバーを外します。

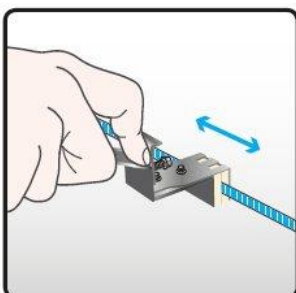
キャリッジを手で右側端へ移動させます。

エンコーダークリーナーのフェルトにエタノール(純度95%)をつけます。



エンコーダーストリップの清掃可能な範囲をクリーナーで優しくスライドさせてください。その際、キャリッジの位置をずらしながらストリップ全てをクリーニングするようにしてください。

2、3回往復させた後、ストリップを傷つけないよう注意してクリーナーを取り外してください。



エンコーダーカバーを元に戻し、つまみネジを締めてください。

マシンの電源を入れます。

* 清掃後は必ず CR スピード調整を行ってください。



インク保管推奨環境

インクカートリッジの保管は下記の環境にてお願いします。
 温度:0°C~40°C
 直射日光は避けてください



GT3 向けに新しく新設されたメンテナンスキット

●フルメンテナンスキット

2 x	ワイパークリーナ	SB3101001	4 x	キャリッジフェルト	SB2652101
10 x	クリーンスティック	—	2 x	手袋	—
1 x	フラッシングウケスポンジ	SB3004001	10 x	クリーンアプリアクター	—
1 x	フラッシングウケフェルト	SB3005001	1 x	ウオッシュ液 L 組	SB5679001
1 x	ファンフィルタ	SB3018001			

フルメンテナンスキット <部品コード:SB5677201>

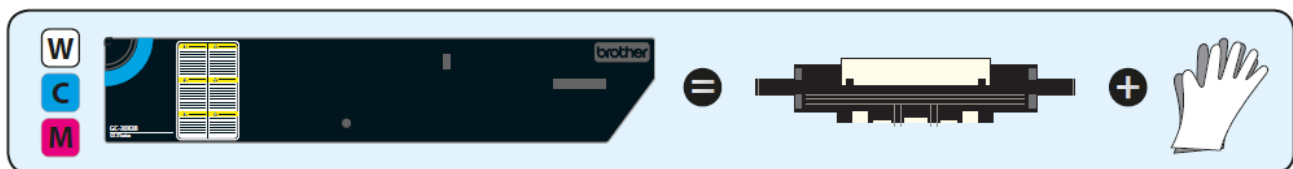
●フィルタフェルトキット

10 x	クリーンスティック	—	3 x	ファンフィルター	SB3018001
3 x	フラッシングウケスポンジ	SB3004001	12 x	キャリッジフェルト	SB2652101
3 x	フラッシングウケフェルト	SB3005001			

フィルタフェルトキット <部品コード:SB5678001>



インクカートリッジに含まれるメンテナンス部品



白(380cc)、シアン(180cc/380cc)、マゼンタ(380cc)カートリッジには、ワイパークリーナーと手袋が含まれています。

その他メンテナンス部品、スペア部品

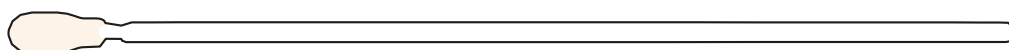


●清掃用のスティック



100 x クリーンスティック（キャップやワイパーブレードの清掃用 *短いタイプ）

クリーンスティック(100本入り) <部品コード:SA5784001>



50 x クリーンアプリケーター（ノズルプレートやCLPの清掃用 *長いタイプ）

クリーンアプリケーター(50本入り) <部品コード:SA5888001>

●洗浄液

1 x 50cc ウォッシュエキ(キャップやワイパーブレードやCLP、ノズルプレートの清掃用)



ウォッシュエキ <部品コード:SB5679001>

●ワイパーブレード

1 x ワイパーブレード(プリントヘッド表面の清掃用)

ワイパーブレード <部品コード:SB3635001>



●キャッピングカートリッジ W



長期保管時(2週間以上の長期休暇など)にチューブ洗浄後に白カートリッジの代わりに挿入して使います。

キャッピングカートリッジW <部品コード: SB3047001>



カラー専用で使う場合(2週間以上)

	保管前の準備	日々のメンテナンス	定期メンテナンス
カラー側	無し	通常通り (使用しない日はノズルチェックパターン印刷を推奨)	通常通り
白側	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘッドノズル面/ヘッドキャップ/ワイパーブレードの清掃 ・ワイパークリーナーの交換 ・チューブクリーニング後、【洗淨後白インク導入】 	ノズルチェックパターン印刷	週1回のチューブクリーニング

プリンターを使わない場合(2週間以上)

	保管前の準備	定期メンテナンス
カラー側	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘッドノズル面/ヘッドキャップ/ワイパーブレードの清掃 ・ワイパークリーナーの交換 ・メンテナンスユニットにウォッシュ液封入(キャップから) 	2週間毎に再度ヘッドキャップの掃除、メンテナンスユニットにウォッシュ液封入
白側	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘッドノズル面/ヘッドキャップ/ワイパーブレードの清掃 ・ワイパークリーナーの交換 ・チューブクリーニングを行いチューブ内に充填剤が封入された状態でキャッピングカートリッジを挿入 	2週間毎に各チューブに充填剤を再充填してチューブ内に充填剤が封入された状態でキャッピングカートリッジを挿入

341 モード



白ヘッドが装填されている時は 341 モードにしないこと！

* 341 モードの場合、白ヘッドは自動的にページはしませんがワイパーは動く為、ワイパーが乾燥したヘッド表面をワイプし続けることになり、白ヘッドはダメージを受け続けることになりませんが保証対象にはなりません

Brother GT3プリンターメンテナンスカレンダー

月	1月	4月	7月	10月	年	2016年	2019年
	2月	5月	8月	11月		2017年	2020年
	3月	6月	9月	12月		2018年	2021年

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
週末																															
白インク入れ替え																															
白インク攪拌																															
白チューブクリーニング																															
洗浄後白インク導入																															
シャフト清掃とグリスアップ																															
メンテ部品の交換																															
キャップ清掃																															
ワイパーブレード清掃																															
レール清掃																															
エンコーダー清掃																															
カラーチューブクリーニング																															

毎日のメンテナンス

白インクカートリッジの攪拌

白インク攪拌

OR

白インク入れ替え

毎週のメンテナンス

白チューブクリーニング

ヘッドキャップクリーニング

ワイパーブレードクリーニング

毎月のメンテナンス

キャリッジガイドシャフトクリーニング

キャリッジレールクリーニング

目視確認(ミスト汚れなど)

3ヶ月毎のメンテナンス

カラーチューブクリーニング

目視確認(ミスト汚れなど)

改定履歴

日付	Rev.	改定内容
2016年6月6日	1.0.0	初版発行